



かつては6m四方の土壇状の土地で、天正3年(1575)の五輪塔が残ります。当地は、戦国時代の武将畠山昭高が建立した寺の跡、あるいは文永5年(1268)に西大寺の叡尊が、650人に菩薩戒を授けた釈迦堂の跡ともいわれていますが、詳細は不明です。

文明13年(1481)に造立された116センチの地蔵で、表面は油で黒くなっています。伝承では、真観寺の住持が堺から持ち帰る途中、急に重くなり当地で祀ったといわれています。

境内にくすのきといちじょうの木
法界と刻まれた岩座に半跏している延命地蔵で、江戸時代のものです。

浄土真宗の僧である葛仏蓮が、天保8年(1837)頃、松林寺で開いた幕末の八尾を代表する私塾です。仏蓮は書家・賞名海屋や漢詩人・梁川星巖、歴史家で儒学者の頼山陽に学び、交流がありました。

道標1 太子堂四丁目道標

先端だけしか見えませんが、「右下勝・・・」と刻まれていて、勝軍寺を案内するものと考えられます。勝軍寺を案内する道標としては唯一残るものです。



久宝寺駅

JR八尾駅

奈良街道

河内街道

八尾街道

立江地蔵

大聖勝軍寺

真観寺

安中元地蔵

子安地蔵

大門地蔵

法覚寺地蔵

守屋首洗池

松林寺

龍華寺趾碑

龍華出張所

太子堂

立江地蔵

龍華中学校

物部守屋大連墳

道標3

龍華図書館

老原

道標4

龍華小学校

老原1丁目

道標

龍華小学校

交番

交番前に石碑

龍華小学校

五各宮社

五各宮社